

## 2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年		学期及び曜時限	前期 月 7	教室名	803
担 当 教 員	大澤 由紀	実務経験とその関連資格	作業療法士として武田総合病院へ勤務。 急性期、回復期リハビリテーションに従事。			
《授業科目における学習内容》						
リハビリテーションの概念を理解し、障害受容について説明できる。チーム医療の重要性が説明できる。障害者の気持ちを感じることが出来る。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 :20% レポート :80%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・セラピストのための概説リハビリテーション						
《授業外における学習方法》						
「セラピストのための概説リハビリテーション」を読んでおくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
日本のリハビリテーションの歴史を生きてきたセラピストからの講義、障がい体験、そして当事者からの先輩セラピストからの貴重な講義。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの理念と目的、リハビリテーションについて理解し、説明できるようになる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:1	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの理念と目的、リハビリテーションとは			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ICIDH⇒ICFについて理解し、説明できるようになる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:2	
		各コマにおける授業予定	ICIDH⇒ICF			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害受容について理解し、説明できるようになる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:3	
		各コマにおける授業予定	障害受容につて			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害について理解し、説明できるようになる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:3	
		各コマにおける授業予定	聴覚障害について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害体験について理解し、説明できるようになる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:3	
		各コマにおける授業予定	障害体験			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害体験について理解し、説明できるようになる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:3
		各コマにおける授業予定	障害体験について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療の重要性について理解し、説明できるようになる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:4、2部
		各コマにおける授業予定	チーム医療の重要性		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	他職種の理解について理解し、説明できるようになる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:4、2部
		各コマにおける授業予定	他職種の理解		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	他職種の理解について理解し、説明できるようになる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:3
		各コマにおける授業予定	他職種の理解		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	他職種の理解について理解し、説明できるようになる。	教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:4、2部
		各コマにおける授業予定	他職種の理解		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について理解し、説明できるようになる。	教科書	講義を聴いた振り返りレポート
		各コマにおける授業予定	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について理解し、説明できるようになる。	教科書	講義を聴いた振り返りレポート
		各コマにおける授業予定	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床現場の作業療法について理解し、説明できるようになる。	教科書	講義を聴いた振り返りレポート
		各コマにおける授業予定	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害を持つ当事者の気持ちについて理解し、説明できるようになる。	教科書	講義を聴いた振り返りレポート
		各コマにおける授業予定	当事者からの授業		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害を持つ当事者の気持ちについて理解し、説明できるようになる。	教科書	講義を聴いた振り返りレポート
		各コマにおける授業予定	当事者からの授業		